

晴れの国で「食べる雄町米」を販売！

株式会社 岡本農産（岡山市南区藤田2457-8）
URL : <https://www.instagram.com/okamotonousan.official/>

◀ 岡山の魅力発信 ▶

HPはこちら▶



経営概要

ほ場面積

水稻65ha（酒造好適米50ha（山田錦40%雄町60%）、主食用米15ha）
麦類70ha（二条麦35ha、はだか麦35ha）

代表者

代表者 岡本 邦宏

労働力

正社員 4 名、アルバイト3～4名

栽培詳細

- ・酒米「雄町」、「山田錦」、もち麦「キラリモチ」、ビール大麦「サチホゴールド」を栽培。
- ・有機 J A S の認証を取得し、有機酒米・有機大麦を栽培。
- ・食べる雄町米及びもち麦を販売。



取組内容

農業機械の 導入状況等

- ・自動操舵付きコンバイン 1 台、収量コンバイン 2 台、トラクター 6 台（後付け自動操舵）。
- ・田植え機 2 台（自動操舵付き）。
- ・農業用ドローン 2 台。

雇用状況等

- ・農業機械のスマート化の導入で作業の負担軽減や、大型等免許の取得費用を負担など、人材確保につながるような取り組みを行っている。
- ・休日は希望日及び会社指定日で設定、就業規則はある。

食べる雄町米

- ・「雄町米」は、日本酒の原料となる酒造好適米で全国の生産量の 9 割を岡山県で栽培。
- ・食べても美味しく、品種の知名度アップのため「食べる雄町米」として商品化。



今後の展望等

- ・有機栽培・・・需要が高まっている有機酒米について、品質向上や収量アップにつながる栽培方法を探求していきたい。
- ・規模拡大・・・今まで力を入れてきたが、品質や収量の低下の恐れ、乾燥調製施設の拡大などの課題がある。
売り上げアップや人材育成に力をいれたりして少しずつ課題をクリアして取り組んでいきたい。
- ・主食用米の増産・・・価格が高騰しているが、取引業者からの要望にあわせて検討していきたい。

取材年月日：令和 7 年 5 月 7 日



岡本代表（左から 3 人目）とスタッフ



食べる雄町米



もち麦（キラリモチ）